

# 放射線のとらえ方

本校では、週に1回放射線の値を測っています。単位は、 $\langle \mu\text{Sv}/\text{時} \rangle$ （マイクロシーベルト/一時間あたり）という放射線量です。

ただ、この値を見ましても、安全かどうか判断するのが難しいと思われる方もいらっしゃると思いますので、安全かどうかを簡単に確認する一つの目安をご紹介します。

その目安とは、1時間あたりの放射線量を、1年あたり放射線量になおす方法です。その計算式は、「 $\mu\text{Sv}/\text{時} \times 9$ 」です。

☆  $\mu\text{Sv}/\text{時} \times 9 = \text{mSv}/\text{年}$ （ミリシーベルト/一年あたり）  
 （厳密には、 $\mu\text{Sv}/\text{時} \times 24 \text{ 時間} \times 365 \text{ 日} \div 1000 = \mu\text{Sv}/\text{時} \times 8760 \div 1000$ ）

ここで出した値が、日本の年間自然放射線 1.5mSv/年 を下回っていれば、通常の放射線量が出ているということがわかります。

様々なところで放射線の値が出ていると思いますので、この方法を一つの目安にしていただけたらと思います。

## 参考

### 放射線被ばくの早見図

